

## 第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 2019年次報告書

### 1. 計画概要

平成30年（2018年）4月に策定した第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下、『計画』といいます。）の概要は以下の通りです。

#### (1) 計画期間

2018年～2030年（13年間）

#### (2) 計画目標

計画目標は以下の通りです。

（排出量単位：t-CO<sub>2</sub>）

	基準	短期目標	目標
年	2013	2022	2030
排出量	43,084.4	37,914.3	25,850.6

### 2. 温室効果ガスの算定方法

#### (1) 対象の温室効果ガス

計画で対象としている温室効果ガスは以下の通りです。

対象	説明
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	エネルギー起源：電気の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリンなどの使用により排出される。排出量が多いため、温室効果ガスの中では温室効果への影響が大きい。 非エネルギー起源：廃棄物の焼却などにより排出。
メタン (CH <sub>4</sub> )	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、廃棄物の埋め立て、終末処理場等による下水等処理、稲作、家畜の腸内発酵などにより排出。
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、終末処理場等による下水等処理などにより排出。

#### (2) 算定方法

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定を行います。

グラフや表内の数値は、四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

### 3.温室効果ガスの排出状況

#### (1) 2019年度温室効果ガスの排出量

2019年度の温室効果ガス排出量は以下の通りです。

	2019年度		2018年度		前年度比 (1) / (2)
	t/年	t-CO2年 (1)	t/年	t-CO2/年 (2)	
CO2	57,785.0	57,785.0	60,514.2	60,514.2	0.9549
CH4	12.4	311.2	12.4	310.0	1.0038
N2O	4.9	1,459.8	4.4	1,315.1	1.1100
合計	-	59,556.0	-	62,139.3	0.9584

温室効果ガス排出量の割合 (t-CO2換算) としては、CO2が全体の97.03%を占め、次いでN2Oが2.45%、その後CH4が0.52%となっております。

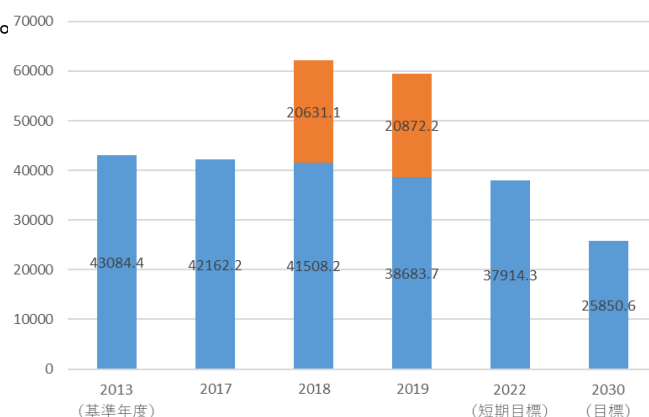
2019年度は2018年度より温室効果ガスを4.16%削減できました。

#### (2) 計画目標の達成状況

計画目標の達成状況は以下の通りです。

(単位：t-CO2/年)

年度	排出量
2013 (基準年度)	43,084.4
2017	42,162.2
2018	62,139.3
2019	59,556.0
2022 (短期目標)	37,914.3
2030 (目標)	25,850.6



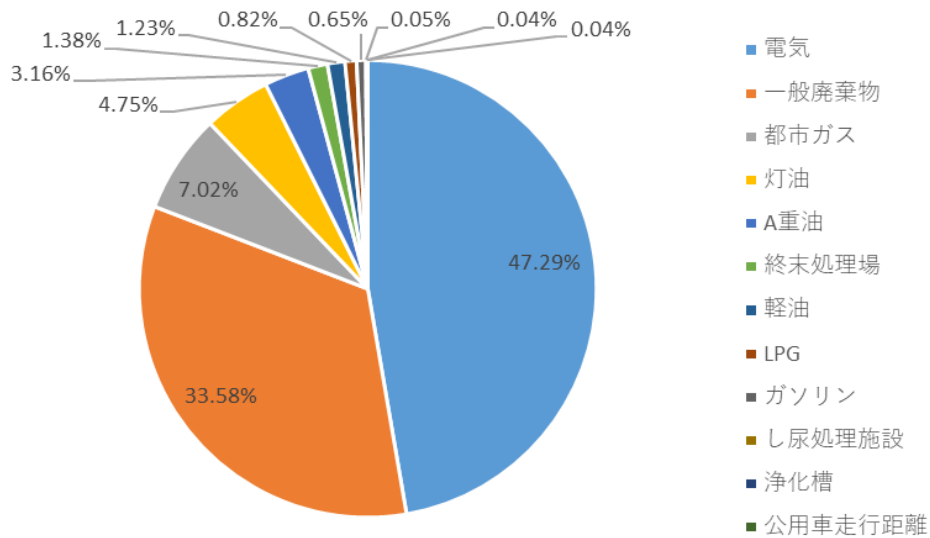
2017年度と比較して大幅に増加している原因は、一般廃棄物の焼却や終末処理場等による下水等処理時における温室効果ガスの排出量 (上グラフにおける赤い部分、3.(3)表内の黄色着色箇所) を追加したためです。計画では、『市が行うすべての事務・事業』を対象としているため、計画の中間見直し時に基準年度や目標の数値については修正を行います。

#### (3) エネルギー等内訳

エネルギー等の内訳については以下の通りです。

温室効果ガス排出量の割合 (t-CO2換算) としては、電気が全体の47.29%を占め、次いで一般廃棄物の焼却が33.58%、その後都市ガスが7.02%、灯油が4.75%となっております。

エネルギー等	単位	使用量等	合計 t-CO2	CO2					前年度比 2019/2018	
				CO2		CH4		N2O		
				t-CO2	kg-CH4	t-CO2	kg-N2O	t-CO2		
ガソリン	L	166,160.5	385.5	385.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9428	
灯油	L	1,133,213.5	2,828.5	2821.7	157.7	3.9	9.5	2.8	1.0019	
軽油	L	284,818.3	734.8	734.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3311	
A重油	L	694,362.5	1,882.0	1881.7	0.0	0.0	1.1	0.3	0.9829	
LPG	kg	162,131.7	487.2	486.4	27.6	0.7	0.5	0.2	0.7118	
都市ガス	m3	1,864,405.2	4,178.9	4174.5	149.3	3.7	2.2	0.7	0.9881	
電気	kWh	55,135,385.7	28,164.5	28164.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9644	
し尿処理施設	m3	25,983.1	31.9	0.0	987.4	24.7	24.2	7.2	0.9696	
終末処理場	m3	11,754,716.0	819.1	0.0	10,344.2	258.6	1,880.8	560.5	1.0208	
浄化槽	月*人槽	14,040.0	25.3	0.0	690.3	17.3	26.9	8.0	0.8239	
一般廃棄物	t	41,141.5	19,996.0	19135.9	50.9	1.3	2,881.9	858.8	1.0117	
公用車走行距離	km	2,786,153.1	22.3	0.0	38.7	1.0	71.6	21.3	0.9288	
			59,556.0	57785.0	12,446.1	311.2	4,898.6	1,459.8	0.9584	



一般廃棄物の処理にかかる温室効果ガス等は微増したものの、電気をはじめ、各種化石燃料等エネルギー消費を抑えることができたため、4.16%もの削減ができました。

更なる温室効果ガスの排出量削減に向け、省エネルギー機器・再生可能エネルギー機器の導入、化石燃料ではなく電力を使用する設備への切り替えと再生可能エネルギー比率が高い電力会社へのシフトや、一般廃棄物の焼却量を削減できるようにごみの分別・資源化の徹底などを推進してまいります。